平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名　株式会社RKB毎日ホールディングス　上場取引所　福
コード番号　9407　URL http://rkb.jp/holdings
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 井上　良次
問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画局長　(氏名) 古賀　輝　TEL 092-852-6624
四半期報告書提出予定日　平成30年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	18,925	△0.5	1,518	5.0	1,657	6.2	1,088	△13.5
29年3月期第3四半期	19,021	5.7	1,445	53.1	1,560	48.7	1,258	143.5

(注)包括利益　30年3月期第3四半期　1,816百万円 (7.3%)　29年3月期第3四半期　1,692百万円 (53.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	496.42	―
29年3月期第3四半期	574.12	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	45,803	33,297	71.3
29年3月期	45,722	31,682	67.9

(参考)自己資本　30年3月期第3四半期　32,653百万円　29年3月期　31,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	―	―	―	90.00	90.00
30年3月期	―	―	―		
30年3月期(予想)				75.00	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,770	0.2	2,230	2.6	2,350	1.9	1,440	△19.1	656.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	2,240,000 株	29年3月期	2,240,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	47,544 株	29年3月期	47,504 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	2,192,476 株	29年3月期3Q	2,192,745 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……………………………………………………………………… 2
（１）経営成績に関する説明 ……………………………………………………………………………… 2
（２）財政状態に関する説明 ……………………………………………………………………………… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ………………………………………………… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 ……………………………………………………………………… 4
（１）四半期連結貸借対照表 ……………………………………………………………………………… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ………………………………………… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …………………………………………………………… 8
（継続企業の前提に関する注記） ……………………………………………………………………… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……………………………………………… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）…………………………………………… 8
（セグメント情報等） …………………………………………………………………………………… 8
３．参考情報 ……………………………………………………………………………………………………１０

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境、株高等による個人消費の改善がみられるなど、緩やかな景気回復の状況が続いております。

そのような状況の中、主たる事業の放送事業収入は前年を上回りましたが、システム関連事業収入は前年を下回りました。営業費用については、システム関連子会社において退職金制度変更に伴い退職給付債務が減少し、引当金を取崩したことにより減少しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は189億25百万円(前年同期比 0.5%減)で減収となったものの、営業利益は15億18百万円(前年同期比 5.0%増)、経常利益は16億57百万円(前年同期比 6.2%増)といずれも増益となりました。ただし、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期にあった放送設備購入補助金の受取りに伴う特別利益がなく、10億88百万円(前年同期比 13.5%減)で減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①放送事業

放送事業は、収入128億31百万円(前年同期比 1.6%増)、営業利益13億63百万円(前年同期比 4.6%減)となりました。

テレビ部門は、収入111億66百万円(前年同期比 1.8%増)となりました。タイム収入は3.4%増、スポット収入も1.2%増となりました。業種別では、食品、流通・小売、通信・アプリなどが落ち込んだものの、輸送機器、化粧品・洗剤・トイレタリ、住宅・建材などが伸びました。

ラジオ部門は、収入16億65百万円(前年同期比 0.0%増)となりました。スポット収入が16.2%減、タイム収入が3.1%減となったものの、制作収入は新規イベント等の実施により34.1%増となりました。

利益面では番組費およびイベント等の費用が増加し、減益となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入31億13百万円(前年同期比 6.0%減)、営業利益44百万円(前年同期は営業損失1億36百万円)となりました。

ソフトウェア開発業界では業界内の競争が一層の厳しさを増す中、民間向け機器販売等は増加したものの、自治体向けソフトウェア開発の受注が減少し、減収となりました。利益面では、退職金制度変更に伴い退職給付債務が減少し、引当金を取崩したことにより大幅な増益となりました。

③不動産事業

不動産事業は、収入7億89百万円(前年同期比 1.1%増)、営業利益8億13百万円(前年同期比 1.1%減)となりました。

賃貸料収入の増加により増収となったものの、ＲＫＢ放送会館の修繕を行ったことによる費用の増加もあり減益となりました。

④その他事業

その他事業は、収入21億90百万円(前年同期比 4.5%減)、営業損失48百万円(前年同期は営業利益9百万円)となりました。

催事部門では、創立65周年記念事業のフィナーレを飾るイベントとして、芸術花火大会「シーサイドももち花火ファンタジアFUKUOKA」をももち浜で開催し、約25,000人の入場者を集めました。さらに、鳥栖市民文化会館で故蜷川幸雄演出のシェイクスピア劇「NINAGAWA・マクベス」、福岡市博物館で「黄金のファラオと大ピラミッド展」などを開催しました。このほか、福岡市との「The Creators 2017」、北九州市との「TGC KITAKYUSHU 2017」等、行政と連携したイベントも前期に引き続き実施しました。しかしながら前年同期のような大型の催物がなく減収となり、利益面でも営業損失となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ80百万円増加し、458億3百万円となりました。これは主に、回収等により受取手形及び売掛金が10億16百万円減少したものの、株価の上昇により投資有価証券が10億15百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ15億34百万円減少し、125億5百万円となりました。これは主に、支払等により未払法人税等が6億5百万円、退職給付に係る負債が5億34百万円、未払消費税等が4億47百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ16億15百万円増加し、332億97百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を10億88百万円計上し、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が6億77百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年11月14日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,938	8,061
受取手形及び売掛金	4,180	3,164
有価証券	9	64
たな卸資産	115	451
その他	3,212	3,073
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,456	14,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,922	6,706
機械装置及び運搬具（純額）	966	933
土地	13,320	13,320
その他（純額）	1,173	1,192
有形固定資産合計	22,382	22,152
無形固定資産	265	253
投資その他の資産		
投資有価証券	5,318	6,333
その他	2,299	2,249
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,616	8,582
固定資産合計	30,265	30,988
資産合計	45,722	45,803
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	366	302
未払法人税等	757	151
その他	3,582	2,982
流動負債合計	4,706	3,436
固定負債		
退職給付に係る負債	5,893	5,359
その他	3,440	3,708
固定負債合計	9,334	9,068
負債合計	14,040	12,505

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成29年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成29年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	29,354	30,245
自己株式	△182	△182
株主資本合計	29,736	30,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,441	2,119
退職給付に係る調整累計額	△129	△93
その他の包括利益累計額合計	1,312	2,025
非支配株主持分	633	644
純資産合計	31,682	33,297
負債純資産合計	45,722	45,803

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成28年４月１日 至 平成28年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成29年４月１日 至 平成29年12月31日）
売上高	19,021	18,925
売上原価	11,365	11,123
売上総利益	7,656	7,802
販売費及び一般管理費	6,210	6,283
営業利益	1,445	1,518
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	97	107
その他	23	31
営業外収益合計	122	140
営業外費用		
支払利息	2	0
その他	5	2
営業外費用合計	8	2
経常利益	1,560	1,657
特別利益		
補助金収入	145	－
特別利益合計	145	－
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
ゴルフ会員権評価損	2	5
特別損失合計	4	6
税金等調整前四半期純利益	1,702	1,651
法人税等	448	549
四半期純利益	1,253	1,102
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△5	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,258	1,088

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成28年４月１日 至 平成28年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成29年４月１日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	1,253	1,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	381	678
退職給付に係る調整額	58	35
その他の包括利益合計	439	714
四半期包括利益	1,692	1,816
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,698	1,801
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	14

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成28年４月１日　至　平成28年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	放送事業	システム関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,633	3,313	780	2,293	19,021	―	19,021
セグメント間の内部売上高又は振替高	155	70	627	918	1,771	△1,771	―
計	12,789	3,383	1,408	3,212	20,793	△1,771	19,021
セグメント利益又は損失(△)	1,428	△136	822	9	2,123	△677	1,445

(注)１．セグメント利益又は損失(△)の調整額△677百万円には、セグメント間取引消去22百万円、当社における子会社からの収入202百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△903百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成29年４月１日　至　平成29年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	放送事業	システム関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,831	3,113	789	2,190	18,925	―	18,925
セグメント間の内部売上高又は振替高	161	59	639	966	1,826	△1,826	―
計	12,993	3,172	1,428	3,157	20,751	△1,826	18,925
セグメント利益又は損失(△)	1,363	44	813	△48	2,173	△654	1,518

(注)１．セグメント利益又は損失(△)の調整額△654百万円には、セグメント間取引消去3百万円、当社における子会社からの収入201百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△859百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．参考情報

ＲＫＢ毎日放送株式会社　売上高の内訳

（百万円未満切捨て）

	前第３四半期累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年12月31日）		当第３四半期累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年12月31日）		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	11,074	76.8	11,280	77.5	205	1.9
ラジオ収入	1,714	11.9	1,713	11.8	△1	△0.1
その他の収入	1,626	11.3	1,560	10.7	△66	△4.1
合計	14,415	100.0	14,553	100.0	137	1.0